

点字毎日



2018年 (平成30年)
4月19日 木曜日

平塚盲

卒業式に「春めき」の若木

園芸家の古屋さん寄贈

神奈川県平塚市の平塚盲学校に先月、「春めき」と名付けられた桜の若木が鉢に植えられて、寄贈された。木は高さ約2メートル。卒業式

に合わせて寄贈され、生徒たちの巣立ちの場に甘い香りと彩りを添えた。春めきはソメイヨシノよりも開花が早く、

3月半ばに満開を迎える。同県南足柄市の園芸家、古屋富雄さん(65)が2000年に登録した新種で、古屋さんは11年から「卒業生

を送る桜」として各地の小中学校などに植樹を続けている。「香りを感じてもらえたら」と15年からは各地の盲学校にも苗木を寄贈してきた。

一方で、「木を植える場所がない」と受け取りたくても受け取れない盲学校もあったという。そこで古屋さんは鉢植えにして、室内にも飾れるようにした。「モバイル春めき」と名付けて、盲学校では最初に植樹を行った。平塚盲学校に贈った。古屋さんは来年の開花に合わせて、全国の盲学校に寄贈できるよう木を育てている。希望の学校は古屋さん(090・7849・9200)へ。

【平井俊行】